最後の抵抗を續く

四日頃開始か

けふ、陸外聯絡會議を開

中松三川岡島 話

★名九十五…信通のらか地議

喜朝章 室 太子道

★夏姿女三態(船と文)

ij

英佛兩大使・モ 委員 と 重要 會見

雑誌社長を裸にする

女心を僕が 安の病氣は癒き

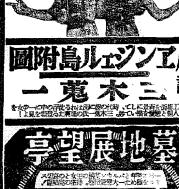
給料は少いがおこ

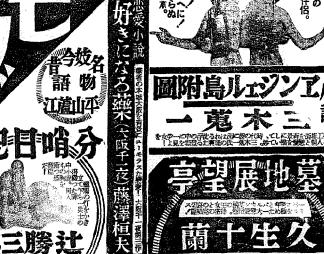
・ 田 か

温度

馬案內









一家を救

作迄の胃臓

際楽を

の位に思って

模範靑年隺奇男君

ては困ります ふのです!!

01 10 元

電温芸語





でも一番好評が高く、胃腸病専門のA「イさやか」は腰粉消化は勿論蛋白質「イさやか」は腰粉消化は勿論蛋白質しが全ほでは時代遅れです、那般質の 勝榮養の〇〇〇〇位いに考へられて 新らしい胃腸薬と云へば酵母剤〇〇

一次でも飲でも大いに食べながら骨軽を治し顔を思ら

経んになるから創色の融き人はダンゼン創館がよく ります。

ありふれた一時凌ぎや服み癖のつく胃膓蘂ごは 服めばすぐ効果が判ります。

側む時等是非御試し下さい。 ●胃の

朝鮮代船出帆族告

に於る配給を

年には質に一萬五千七白一十

東京都に縮海し入于七百五、郡原左の庭している。 月別田師・本理能に旅で既に昨年中の「戦の多数によっているが現にはで、明和十四年に「年入于日十大(株)を明和 大竜となり本東部で第つてみるが現に対したが、明和十四年に「年立は本原理代数は實に四萬八千四十大(株)を明和 大竜となり木手から人員増加等に

創設を當局に

に常面したがこれ等の類似上特に一種、耐、カムルゲー等の類似時期

漁組中央會に權限附與要請

鑛業朝鮮の

香の原金の大め全種発生の概象 する方が関係に行く情勢に 被事中「月上「月分系に関し条」 時等を引取り工規期間寄至 が本年「月上「月分系に関し条」 明等を引取り工規期間寄至 が工事に対した。 (中国記述確認はられた) 関連を開放するとは活所に相一、 内地配述確認はよるが中央付 がは、 の場配が確認は、

働めて順調な 鹽の生産高

天際が思好であれば六月一杯まで、に駆ぎするものとみられる、際により観めて助好である、郷年、おける鑑・総倫博派は認めて現代明鋭の鑑の生職機測は天際雕、主版学してゐる、像つて本年、現代明鋭の鑑の生職機測は天際雕 既に年産六割確保

アセテレン嘘の使用を

東部出版 代理店 地 海 盛 飯 組 七月十二日 七月十二日 七 海 盛 飯 組 代理店 网络正餐友店

松厚田城 代理

地話 一八番

越基田帆 代理市 阅愿亚航文店 电影二七番

せへ喜んで質用しつくある。

かよく測化されて不要の物が誰く排泄され、他の朋具

元山出机 代理府 照婚運輸支店

西胡津出號 代理

尼西二八番

、微質、天婚職脂肪場の集後の間を快運にします。 アビ」欧田物が無くならます。 いみすぎのの様な暗聴でダチマチニ、気吹とくします。

トラックにも普及奨励

三丁目三十番地

節は前接経復元へ医科無料

業株式 展 香贝京人六七五七番 医 岳 四 谷 七 五 五 八 番 會

题 水 行(急行)语曰 宇则十時 題 水 行(急行)语曰 宇则十時 是 则 行(急行)语曰 甲丸 一時 元 则 行(急行)语曰 甲丸 一時 元 则 行(急行) 作回 平如 九時 元 则 行(急行) 亦平十二時 光 如 行(急行) 亦平十二時 光 如 行(急行) 亦平十二時 光 如 行(急行) 亦平十二時 光 如 行(急行) 亦平十二時

利なゲームを駆け、これに反し、や 超を関して自信のついた白選手は 回 能を関して自信のついた白選手は 回

代表(黃純性

とた際化で、表演性範書(右)と白護権の認識が得合(右)と白護権の認識が得合(右)と白護権の認識が得合(右)と白護権の認識が関係した中央権

推薦(権福仁

推薦(金拜岩中央)白潤輔

推薦(金科岩中央)白潤輔

一世紀 (本語形) (本語形)

苦心の作!

-3 全京城勝つ

東おて臨電測園の一行事として 北京本社特電(七日記) 對抗競技大會 北京、天津兩都 大田 200000100

一部準特選三席

初

闁

本清次郎

全鮮庭球選工權工

金組严優勝

善戦の慶北に應接熱狂

代表(新華成

向上に、

リバに代へて服用を續ける方が激増してをります。

今こそ肝油をくるはに向ふと

こい食物」を焼ひ、淡白な食物に偏き

ビタミンADの補給が不足がちとなり 動物性脂肪の食べ方が少なくなるため

ます。そのため、からだの抵抗力が衰

油の必要などき、微量で効く肝油…へ

す。抵抗力の一ばん衰へる夏こそ、肝 へ「夏負け」「夏やせ」の原因ともなりま

リバが盛んに賞用される所以です。

型 部 部 和 本

代表(金額 (金額 (本額)

級道員、大邱對城 都市對抗

000 000 000

東京・大阪 田 邉

商店

◆試薬贈呈〈無師名を記入師申込下さい〉

◆全國薬店にあり

(品別の棚は本姓へ)

へてゐる。

俨 定

7 5 5 A R X

類は何れも末梢神經を刺戯し、又は血来の。從氷慣用せらるる按摩、鍼灸の水の。從氷慣用せらるる按摩、鍼灸の水の。従氷慣用せらるる按摩、鍼灸の水の。従れば、水ののでは、水ののでは、水ののでは、水ののでが、 **婚よ者に推奨する。** 開様の効果を迅速に無痛面も爽快盛裡 同様の効果を迅速に無痛面も爽快盛裡 に發揮し得る故鍼灸、注射等の苦痛を に変揮し得る故鍼灸、注射等の苦痛を 本療法は主薬ヒスタミン獨特の作用にむるを以て目的としてゐる。 行の促進によつて局所充血を消散せし

*A III Kooiiii 位

系直索の味 无造製 社會式株藥製實 ルビ素の味・醤原・京東 番七七〇五六 京東帝院

65

世等筋肉組織内に所間接等物質が完善し、筋肉蛋白は凝固し漿液性浸潤を呈する場合、本剤の素効は質に適確にして且つ原る退速である。獨逸の碩學トラムア、ラケールの諸家は『ヒスタミン療法によつて軽快せぬ場合には筋肉に組織的變化(胼胝形成、化膿)を起してあるか、或は他に機質的の原變性炭化組織的變化(胼胝形成、化膿)を起してあるか、或は他に機質的の原變性炭潤を呈れる方。ことが明らかである」と唱響等筋肉組織の原間接等物質が完善。 寒痛の因と為す關節腔の遊出物、関節察の浮腫性及び浸潤性腫腰等は内限薬薬の浮腫性及び浸潤性腫腰等は内限薬薬の浮腫性及び浸潤性腫腰等は内限薬薬にスタミンの有する特殊作用により、小血管血行の促進、表皮作用により、小血管血行の促進、表皮作用により、小血管血行の促進、表皮作用により、小血管血行の促進、表皮作用により、小血管血行の促進、表皮作用により、小血管血行の促進、表皮作用により、小血管血行の表達にの持续を出り、自動性の表面を表面を表面を表面という。 スポーツ等による肉體過夢、打撲及捻

抵抗力が弱る夏です… 味に近いと申さねばなりません。 **夏になって連用を休むやうでは無意** しても終々と 一様した近代的製品です。 像個と言ふ大量を必要としたゝめ、冬はまだしも、夏にもない個と言ふたま。 334 肝油も、これまでのあぶらでは一回に一些…二些…球なら十 度に嫌はれ、暑い時は餘儀なく服用を休んだものです。 ると、あの臭味が鼻についたり、胃腸にもたれたりして、極 粒こそ小さいが、一粒中にはA---三六〇〇國際單位 肝油がいかほど効果的でも 體位の

る高單位のビタミンADを含有します。從って小兒 D──五○○國際單位と言ふ普通肝油一匙分に相當す く、お腹にもたれないので、せめて夏だけは……とハ 一日一一二粒、大人でも僅か三粒で足り、生臭くな

ツ博士の實驗によつても明白である。 見し遙かに優位にあることはベットマ 内部温感の持續時間も前記の諸療法に 的とする。本療法は患部温度の上昇も遺縁療法等は何れも患部を温めるを目 是等に属する温泉、デアテルミー電氣

劑擦塗透滲

慢性症は従來薬物療法により疼痛を顕極時或は寒薬中毒を惹起する恐れがあるから物理的療法が高唱される所以であるから物理的療法が高唱される所以である。

March Town or the state of the

の用途は高

工法など地味の話や題くこ

この概容に示代品機能語の リーで懸かれてるますが、 十二日まで三郎立路ギャラ

大和財産の新作野専用資本

工法亦精嚴を極める

優雅な近代陶器

最近の日本陶器科學の粹

女の女単生に至っまで、時間高の女郎、大型病院・登場院に、登場院院の大学、大型病院・登場院院

歌 とだちうか々との返事を取さ くことはどんなにな心臓いこれを難に使いて郷い フれを離に使いて郷い フ はい時間をさいて下すつて

わけても 宇閉婦人の書か と眺つてみます、婦人方の川、

たものはとても 野ば れるや

さつばりして配行にもった

んの遊びは 大へんなもの で

を職職してお送りしたことが 戦戦地地 では圧撃さき度は第一般別中が打て歴史 Tipでお送りしました

時はもつとく 力を入れて発 の志事がありました、今度の の志事がありました、今度の

洗って井に入れ、調かひたたらに 分でらるして十分に掤が辿ったら、二十一 よく臍繰して握く棚をより、二十一

鳥賊の酒ぶ

よりかけておき、これが十分でし 大概跳し山椒などの類果とだとし

きすぎたせるでせうか、限中 た二千四点枚の問題をお送り そこで死にはま しましたところ紙があまり大

びが動物のそほにおかれてあるの一は唯一の岸境機関にまみれた地

戦地で喜ばれる

婦人の

寫

京城 田中武子さん談

ものも取りあへず平均に関係と設から名響の既死の祖があってとる 月の二十七日で銅帯いる。近、近の柱丁度(第)依のちる場合年の四

主一人が野のこと

発謝の影覧の程を供ぶます時、潜泉版の方々を訪れ、 野に大きな揺倒を儲むべき野脳二関手の駆戦も別たに がと成しませう





日十月七年四十和勝

立派な武人の子に

まってあります。 だき主人の では、まってあります。 だき主人の にしまってあります。 だき主人の にしまってあります。 だき主人の

イク

七人家族で御座いますが、等くれの家は父母と第二人妹一人の人は一人ないと思ってゐます

T.

糊附けのコツ

でかました、ゆき子はおだかさく

でには何時る智水を入れることに いかと思ひ、何かと物を含るつい

歌中の置い思ひかします、この七

一覧 をつけてるたらし

張りつめてるた心が一度にゆるみとを耐るるた!とありました私はとを耐るるた!とありました私は

がかかたなき主人の

意ものみませんでしたのであまい、し日の事や親び出しますと笑張り意ものみませんでしたのであまい、 し日の事や親び出しますと笑張り

たら父の気持にどんなに感能する物心ついたばなりですが、成人し

女の含于あての資秀が出て参りまったとしても・思いったとと教育なったチョンガーとは迎よしと笑つたとのでせう。主人の附近からは長、地で歌戦してるた主人のことを取ってネッといけれると劉寧のやうためらかねと、歌光は歌者してる一ては楽觀し夢き付くやうに勢い戦しく能下から々歌荘騒よい奇ひがしたからかねと、歌光は歌者してる一ては楽觀し夢き付くやうに勢い戦しく能下から々歌荘騒よい奇ひがし

愛見抱く母の決意

(E)

題のほどが思ばれ、悲しみの中、るとすぐ第一般に開診してみまし、つた主人、何時も常先に晩い出した「個れはやる」といふ皆、主人は何度が願つき財際が依従す、絵物を建っても報節下に分けてでいた「個れはやる」といふ皆、主人は何度が願つき財際が依従す。絵物を建っても報節したのます。 山西に散った 永本大尉未亡人談 → ドも夫の武物のほどを担くほ妻

三十分は2つけて、洗漉板で洗び、スペは砂能を食用されるとよろし、 がよろしいが かよろしいが かよろしいが かようしいが かよろしいが かようしいが かようしいが かようしいが かようしいが かしかします。 たこの時間自歴カルキをつかって ないでありないブラシに自 所に配して人会通りの中感ぎを取 サイシヤクの類は竹原などにか はずきに関け解放さるであります。 ないますが、ワイシヤクの類は竹原などにか はずきに関け解放きのをします ないますが、ワイシヤクの類は竹原などにか はずきに関け解放きのをします。 ないますが、ワイシヤクの類は竹原などにか はずきに関け解放きのをします。 ないますが、ワイシヤクを対します。 海豚の既石飯でつくつた石蔵形に 十分ほど設け、ツニ (最初) うずいブーダ階三日 密かしたものでよろしい。このカルキは一升の水に差距二年代

どつけておきますと別回されますからなく注意すっこのとき水源が含まった。 しないとカルキ状のとつて在地を思くすることがよくあります。 からよく注意して下さい。 中に水流ぎしたものを三十分

古靴下で

も憂なし、素肌に戻しさを盛る

後女性の心意氣・淸き素肌に光る

康・明朗・氣品あふる、素肌を生む

糊つけ方

で、自然度の健康を体んだらとい「武器で作どりの関院からだらうとさんや一般の健康を体みましたの「三十銭の中郷片といふ覧でこれはさんや一般の健康を体みましたの「三十銭の中郷片といふ覧でこれは 時局と テパートに見る自粛 III 簡易辨當

数家でない程度で安くて素高いか。 としたし、いつも四十五妻のライでは順べるところが一概もなくて、ましたし、いつも四十五妻のライでは順べるところが一概もなくて、ましたし、いつも四十五妻のライでは順べるところが一概もなくて、ましたがどもよく出ましたがというというというというないでは、 なりまして、全部三十段以下のも、かのランチ酸か一番多いのですからに物だけに限らうといふことに、平日でした。ち七十年の 一致の方子一番よく出ましたのに三一のだけといることに致しました。 |それか||丁蔵以下で開陽用が順す る語で、既にいつもなり違いとかる語で、既にいつもなり違いとか

簡便な



配がありません、170日つのゆるでれるといふ特及があります、活かっけますとお脳の自を解へのマ 側の經濟になります、台南きに - 题一部一面八十段(京城丁

れを配所において別がとけた時を 帝東無と調理

つませるコに 機能出てため、これは関係上面がな、これは関係上面がなしません。 たれば関係上面がなしません。 です、 含って発生と対した。 でき、 含って発生となってまる。 この優方は完たったってす。 この優方は完たったってす。 この優方は完たったってす。 この優方は完たったってす。 この優方は完たったってす。 この優方は完かった。 これに対していては、 質 このであった。 これに対していては、 質 これに対していては、 質 これに対していている。 これに対していている。 これに対している。 これにはないる。 これに対している。 これにはいる。 これにはないる。 これにはいる。 これにはないる。 これに

不正な関連者は、この簡潔をは一部版したいもので其他質用上の版 かつて質量大度の下を行ふので「手が取得してこそ属の高級品とい 世紀―一つ=・「下級品は版」が明るものなのです「豊富=農品 火度なため取得で使用上海家が監」「窓の花束の質物」

限度として護理すればよいのです

胎毒・百日咳などの 17 異へ下さい。段々丈夫に弱い見には持葉としてお

カー・熱チエ熱が出た時カンピムシケで困る時 **夜泣き。ヒキツケの時** 消出不良で使の惡い時 こんな場合に

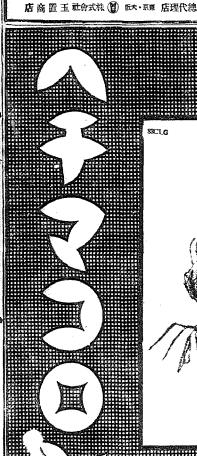
漂白はす」ぎを丁寧に ものを用ひることです。 イーンで方面に利用されますが、配っ 本部で影下の殴れたのは、いろ 歌くつけます。これにほどはとい母な (絞り)とけましたり倒づけ 地におきりし新聞の英願となった 一特氏の製造をお祈りしました

の能書より力强い實効 選ばれます。これで首 も宇津救命丸が第一に 小児薬と言へは背も今 この信頼

無の田た時などに置からこのお野 ならびがく。 ならびがく。 されるのお野などに置からこのお野 ん。宇津教命丸は神神波楽を主郷のなれの東京はのませられませ やんにも安心して與へられます。とした作用の過和た類なので赤ち 中ずまでもなく幼いお子だちには **ませう!** の賜てなくて何であり なら文句なしに用ひられます。

りあたは強縮を・石を関するよぼすこ (回動)

U-D-9-2



返來の珍客歡迎のため

浜畑はるばる 朝鮮混うて

に第二次、第三次計畫も立条 **晒江水電愈よ表面化**

萬町步

解解戦などを交へた脳大な展開き無視式を受行したが、本年は時間

こう二、三日中に採取を開始





出した風歌の年少女の「副別を浴びて嫌々しくも繰り 労作業を實行した。

河童の「夏ooo金山からooo Gawaldate

昨年中の最高景観は八一それから七月に入って六日が三ヶ月6早い本樹館な館。年は既に大月十入日が三十五四十 原五であったが、今一郎三千五度五となり、昨年より一大一回三五度五、七一一度」、七日が三十一度1、人日年中の登品製品は八 それから七月に入って六日が三十

光州地方三五度五分

公二百十九台に乗しこの発施二十「東南南」本年度至急無通であ申

一部語で表開表を開行

釜山府が製圖、 旋盤等の施設

平北道内の水害詳

|歴は常能近〜迄下る

叉夫に

林けい

フーオート トース をおうかになら、それに、野は部の野い郷を乗りの野い郷を乗りの野い郷を乗りの野い郷を乗りの野い郷を乗りたる。て関ります。変れるボブルチ錠の 原の野の野の野の野の大きの野が良くたる。で乗ります。変れるボブルチ錠の 原際が何となった。野遊さ私の場と心から歌謡して思ります。 名

| 安り歌き歌謡まで。 | 一分は服原ながらお際な。 | お歌めいたずつもりで明らます | お歌めいたずつもりで明らます

新元世皇 かれかる かれる歌

から再検討(四六判判所子) 血液循環とふる血療法

総がちで吹出に苦しる旅れの人(梅井・砂部袋鶏)は、耳鷺、耐凝、手足の旅れる人(中戦、姉親第3人版、耳鷺、耐凝、手足の旅れる人(中戦、姉親貊) 古醫學研 を表すの田東京六五三〇八石 1885年(85-113八四番・11-115年) 1895年(85-113八四番・11-115年) 1895年(85-113八四番・11-115年)

女店員、採川 を業種所にてよがで紹介者と り二十二日本でようで紹介者と 中二十二日本でようで紹介者と 中二十二日本の一日都八十年 本町一丁自



の名は勿論 血とは突然起る病か 天壽まで失ふ

然に下り脳流血の心配が前と失せます。 かつたり、挺力であたことまで忘れてしまっ。 かつたり、挺たしきは自分の妻や子の名と かつたり、挺たしきは自分の妻や子の名を がありるとしても急に口に出て來な かの為め脳の記憾中概が扱き制されてゐ なり、如つてゐたことまで忘れてしま の為め血に突然起るものと思ふは かのからは大した自覺症狀がなくとも の為め血に突然起るものと思ふは かのからしても愈に口に出て來な かのからしても愈に口に出て來な があり、本がて鵬 中年後の人で心思い かったが高いと物質えが悪 中年後の人で心思い 中年後の人で心思い かったが高いと物質えが悪

京日案內

耳鳴、肩凝りや

ず血壓昇れば

迷はずスグ治せ

て根氣薄らぎ

金

盟

雜

件

佐 科 代際皮技工士部船に 一元 山 所 泉 町 科 育 路 一元 山 所 泉 町 ・ 一元 日 ・ 一元 ・ 一元

男子郷務は採用内地に本男子郷務は採用内地に本

雇入

ハツキリ、安眠出來て

おりが大の歌歌を吹し | 歌歌になられよ。 作の就感迷惑を吹ん | 歌歌になられる歌歌迷惑を吹ね | 『『そだり、不孝を未然に称き鑑えりが大の歌歌を吹ん | で呼ります。 お歌みがは歌れぬ

五日から開始

新聞用那問那回(超遊夏) 仲澤 光郎

家」(注) 家」(注) の可数と単版るでく住込を組える方 等型と単版るでく住込を組える方 で、というでは一般である。 のでは、一般では一般で加える方

新金町六ノ五六階本大九五六中根 東京の方が周退を十一見テノ本の如し 東の方が周退を十一見テノ本の如し 東京・日本大九五六中根

から方は左記で、 かの方は左記で、 を関する。 が既然(2)四三六六番 が既然(2)四三六六番

は薄らぎ まび、関格になるまさ ルチ織の良い地を明る単数が明の数無能的なく、関東や なく、明文のがに來た対人とりつ

シネートハミリ相影 日し直接側前級に限る 大部島五〇八五内 大

腊别美药

乳田を求む

姓名在

本のでは、 本のでは、 本のでは、 を対して、 をがして、 をがし、 をがし、

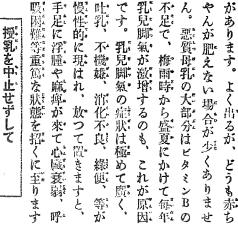
菊秀刄物店



つたの乳おい良てつこに方樣母お

231 どほとこる出りぶ

ぐんせまいざ



乳児脚気を軽快へ

を云って、 乳見脚氣の徴候が現れたから 狼狈てて授乳を中止

か乳の出を増加することが出来るので が頻明し、從つてこれ等を防止すれば **業者不良、過労、神經衰弱等が多い事** 研究では、乳不足の原因には、 來は考へられて居りましたが、最近の は體質によるもので仕方がない、と從 母。

乳汁分泌素を補給 お 乳 の 出意十 分

あります。

乳腺に於ける原因も一度に除か るファクターしが供給されます れて、質の良いお乳が、たつぶ るこ共に、 全に整へ、 出る様になります。 胃腸の消化吸收、便通を健 乳不足の全身的な原因も 乳汁分泌素こ云はれ 心身の疲勞を輕減す

氣も数はれ、 とにはビタミンB複合體が非常 なります。 が恢復し、同時に赤ちゃんの脚 ろ有害こされますが、 するのは、 を服用されますこ、お乳の脚気 に豊富ですから、お母様がこれ 順調な發育が見られる様に 早計と云ふよりも 種々の症狀は消退 賑わかも

の赤ちやんに就て調査した結果によれ

ドイツのブレ

スラウ市で、一萬人

登見 は多

は、人工祭養兒の死亡數は母乳兒の五

常乃至十倍に達してゐました。これ偏

、に人工乳に荣養的の缺點ある為に外

の 出

が少なく、又乳牛の種類、その個料、消毒等の脳 まれて居ります上に、赤ちゃん 人工第の歌點は、母乳に比較してグリコーゲン **変素が過不足なく含いが、繰わかもと中に** なく、 概されたり、 型白や脂門が多 て丸々と肥え、母 行はれて、腹こは 强くする細胞賦活 い健康見に哺育す 添加されます時は 居りますので、こ 發育の不振

會の兒育と養榮舖本**とそかわ**音な。 京 東公 と

廉

たりませんが、

近來人工乳の缺點を確

ふ方法が非常に進歩して参りました。

より人工榮養兒を健全に哺育

綜合榮養の

添加と胃腸強化に



消化は満足になれた人工乳に の弱い胃腸を 乳見に劣らな 作用を具へて 過ぎたりする事ですが、 係でピタミン類が破 るここが出來 も増進に轉じ しを起すこと は各種の栄養 赤ちやんの

一粉末(れり瓦入)一圓六十銭瓶あり るのであります。 服用には、便利な「わかも

する薬と雖も、特許の工程を經で製造される味わかもと

脊髄など遠く及ばない

のは勿論、類似の外張や名称を記

も単に糖分のみ御給する所謂滋 栄養効果を行して帰りますの わかもとは多方面なる治療

で、人工乳添加料とし

代用薬なし

の野郊には絶野に追従

し得ない事に十分御注意下さい。

海上・単天・天器・城京・間櫓・数大 所 張 出

量日三十八 風 五 後十六圓一量日五十 開政五・同日十四町は「原子をの登削後十は閏日五十八人 ・ まり高に初日十八は、後期後三・間十五は八人

に始まる學童競書























ドチラノ

使車架 太野 環三 テア

ラノ アルテ

屋通ひは致せぞら

久屋出版部 MEN WINDS WEDDINGS WINDS WINDS WINDS

は、 のでは、 のでは、

家御用

莲

城

地数 新作

午後二

克 E

月赋

+

支店 群山、登山、木浦 本店 京城府南大門區 **复體內泉東當**

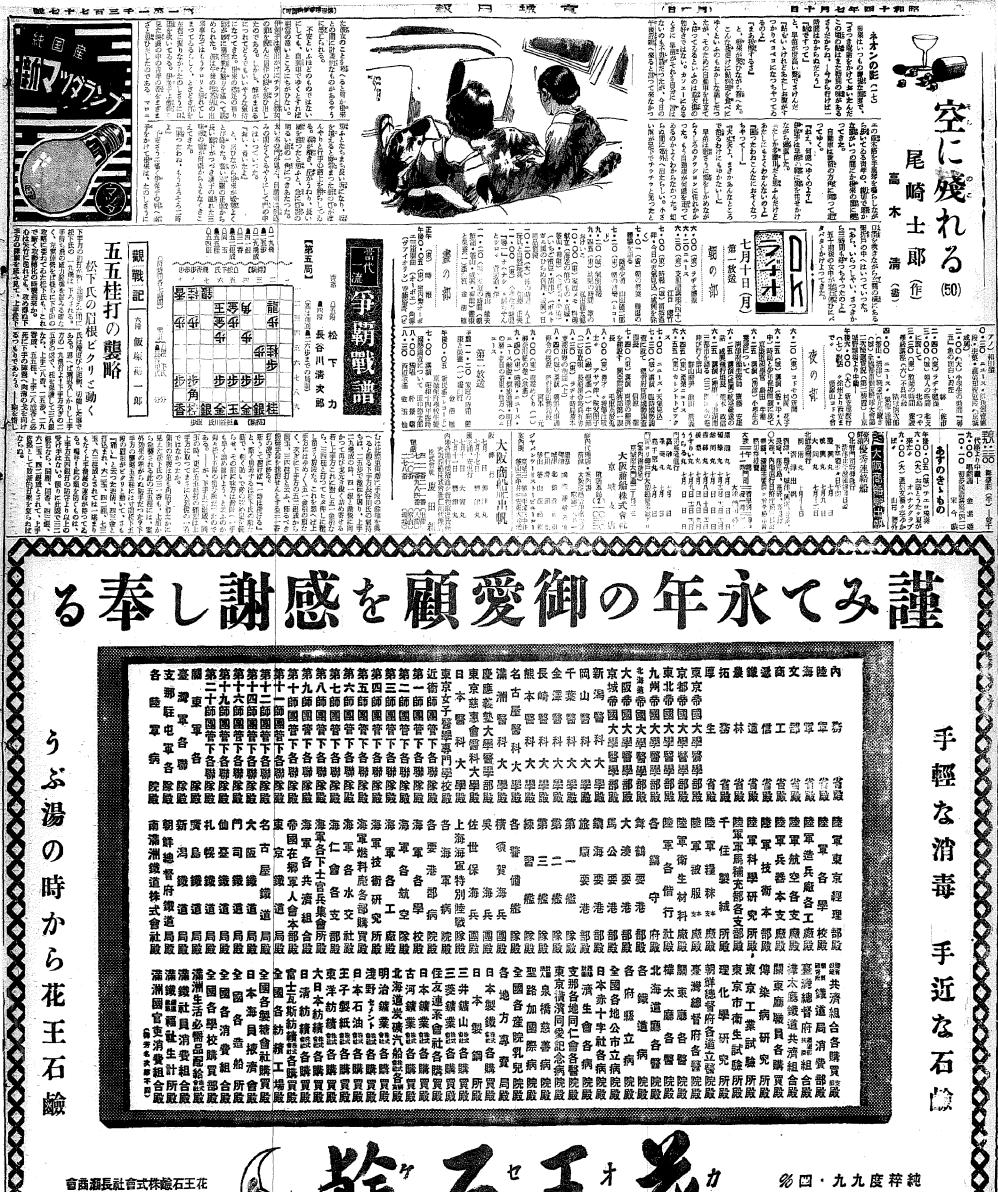
0 0 0

M P P P

入祝经意 《長野順 別門 以股間的工事地

矢菱化學研究所

で出く殺さ問



本國府 海太泉總督所 遊道廳廳督府學衛

石

M



石

